

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ〜す
<https://japan.otakaranews.com>

じゃぱんお宝にゅ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

NACHI アクアREVOシリーズ拡充

アクアREVOに「アクアREVOミル ステンレス用」登場 新開発の溝形状「エアーフルート」(特許出願中)採用 従来品に比べ3倍の長寿命！加工面品質、生産性向上！

アクアREVOシリーズ ラインナップを拡充

不二越は、このほど「アクアREVOシリーズ」のラインナップを拡充した。

アクアREVOシリーズ 開発の取り組み

同社は、2018年に材料・形状・コーティングの全てを一新した超硬ドリル「アクアREVOドリル」を市場投入。2019年には超硬エンドミル「アクアREVOミル」をシリーズに追加し、長寿命・高能率・多用途の特長が、幅広いユーザーから評価され、超硬工具のマーケットシェアを拡大してきた。今回、様々な用途で需要が拡大しているステンレス鋼の加工において、圧倒的な切りくず離れと冷却効果で高能率と長寿命を実現した「アクアREVOミル ステンレス用」を新たにラインナップし、難削材加工におけるユーザーの品質向上とコストダウンに貢献していく。

新開発の溝形状「エアーフルート」(特許出願中)を採用。切りくずとすくい面との接触長さを抑制することで、切りくず離れを改善し、排出時の噛み込みや詰まりを低減した。

アクアREVOミル ステンレス用

ステンレス鋼は、耐食性・耐熱性・耐久性に優れ、洗濯機や食器洗浄機といった家電製品から、発電や化学プラントなどの産業機器、さらには水素ステーションにも採用されるなど、世界的に需要が拡大している。

一方、その切削加工は「切りくずの噛み込みや詰まりが起きやすい」、「加工硬化を起こしやすく、切削抵抗が大きくなる」、「熱伝導率が低く、工具の刃先に熱が溜まりやすい」といった問題から、加工が難しい被削材として知られている。

アクアREVOミル ステンレス用は、

また、接触に伴う加工熱を軽減し加工硬化が抑制されることで、切削抵抗は従来品に比べ20%低減した。

さらに、冷却溝が切りくずとの間に空間を生み出すことで、工具の刃先付近までクーラントが流入しやすくなり、発熱を抑制する。側面加工はもちろん、切りくず排出が困難な溝加工でも、ダントツな性能を発揮する。

加工面品質向上 高能率加工実現

アクアREVOミル ステンレス用は、新開発の独自溝形状「エアーフルート形状」により、切りくずの幅が広がる溝加工においても高い切りくず排出性



を発揮し、切削抵抗が大きい高能率加工においても噛み込みによる傷がなく、安定した加工を実現する。

約3倍の長寿命 多様な用途に対応

アクアREVOミル ステンレス用は、切りくず排出性の向上や、切削抵抗と加工熱が抑制されたことで、刃欠けや摩耗が少なく、工具寿命が他社従来品に比べて約3倍に向上。安定した切削加工により、生産性向上に貢献する。

新製品は、オーステナイト系から析出硬化系のステンレス鋼はもちろんのこと、一般構造用鋼からチタン合金や耐熱合金などの難削材まで、幅広い被削材に対応する。4枚刃2.5D Gタイプ(ギャッシュランドタイプ) 寸法範囲は、φ3～φ20全9寸法。代表寸法φ6.0、全長50mmで7,500円(税別)。

同社は、初年度で年間1億円、3年後に年間3億円を目指している。

(※資料提供：不二越)

